

# 第2章 子育て・教育・文化分野

第1章 保健・医療・福祉分野	第1節 市民の健康づくりの推進	P46
	第2節 地域福祉の充実	P48
	第3節 高齢者福祉の充実	P50
	第4節 障がい者福祉の充実	P52
	第5節 社会保障の充実	P54
第2章 子育て・教育・文化分野	第1節 結婚・出産・子育て支援の充実	P58
	第2節 学校教育の充実	P60
	第3節 生涯学習の推進	P64
	第4節 青少年の健全育成	P66
	第5節 スポーツ活動の推進	P68
	第6節 文化・芸術活動の推進	P70
	第7節 国際交流の推進	P72
第3章 防災・防犯分野	第1節 消防・防災対策の充実	P76
	第2節 交通安全・防犯の充実	P80
	第3節 消費者対策の充実	P82
第4章 産業・観光・雇用分野	第1節 農林水産業の振興	P86
	第2節 商工業の振興	P90
	第3節 観光の振興	P92
第5章 都市基盤・生活分野	第1節 道路・交通網の充実	P96
	第2節 住環境の整備	P100
	第3節 公園・緑地の整備	P102
	第4節 上・下水道の整備	P104
	第5節 情報化社会の構築	P106
第6章 自然・環境保全分野	第1節 自然環境の保全	P110
	第2節 再生可能エネルギーの利用	P112
	第3節 循環型社会の形成	P114
第7章 参画・協働・行財政分野	第1節 参画・協働の推進	P118
	第2節 地域コミュニティの育成	P120
	第3節 人権尊重・男女共同参画・平和行政の推進	P122
	第4節 行政経営の推進	P126



## 第1節 結婚・出産・子育て支援の充実

方向47 関係機関・団体が情報共有と連携を図り、子育てを支援する

つながり

方向77 安心して結婚し、産み育てる環境をつくる

安心



## 第2節 学校教育の充実

方向3 子どもたちが主体的に学べる教育を推進し、学力向上に努める

活力

方向16 快適な学び環境の充実を図る

快適

方向36 ふるさと教育を推進する

らしさ

方向48 学校、家庭、地域が連携し学びを支える

つながり

方向78 安心して学校生活がおくれる環境を整える

安心

方向79 豊かな心を育て、心身の健康を大切にした教育を推進する

安心



## 第3節 生涯学習の推進

方向4 生きがいを感じる学習の場を提供する

活力

方向36 ふるさと教育を推進する

らしさ

方向49 社会教育により地域人材を育成する

つながり



## 第4節 青少年の健全育成

方向50 犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築く

つながり

方向80 青少年の健全育成を支援する

安心



## 第5節 スポーツ活動の推進

方向5 ライフステージに応じたスポーツ及び運動を推進する

活力

方向17 安来市のスポーツ文化を支える環境を整備する

快適

方向37 夢を叶え感動を与える競技スポーツを推進する

らしさ

方向63 スポーツ活動による交流・連携を推進する

つながり



## 第6節 文化・芸術活動の推進

方向6 文化芸術に親しみやすい環境を整備する

活力

方向38 文化財・伝統文化・伝統芸能の保存・継承活動や活用できる環境を整備する

らしさ

方向64 たたら製鉄文化を活かした交流を拡大する

つながり



## 第7節 国際交流の推進

方向7 国際理解を推進し世界に飛躍する人材を育成する

活力

方向18 多様な文化を尊重し豊かに暮らせる環境をつくる

快適

方向65 世界の人々が集いあう環境を整える

つながり



## 第1節 結婚・出産・子育て支援の充実

### 現状と課題

安来市の人口自然増減(出生－死亡)は1980年代まではプラスで推移していましたが、90年以降はマイナスに転じ、徐々にマイナス幅が拡大しています。出生率を高めるため婚姻率を高めることが求められています。

子ども・子育て支援事業計画に沿って子育て支援施策を推進する必要があり、認定こども園への移行については、必要に応じて施設整備や職員配置基準が整った施設から順次移行を図ります。

学校・家庭・地域が連携し、地域住民の豊富な経験、人材等を活用し社会全体で子育てを行う仕組みづくりの構築が課題となっています。また、児童虐待防止、養育支援についても早期支援ができるよう連携体制を強化する必要があります。

若年妊婦や高齢妊婦が増加傾向にあるため、妊娠期から出産、育児期への継続的な支援が必要であり、早期から基本的な生活習慣づくりと命の大切さ、妊娠・出産等を含めた健康教育、環境づくりが求められています。

### 取り組みの方向と主な施策

方向  
47

関係機関・団体が情報共有と連携を図り、子育てを支援する

つながり

- 放課後児童クラブを充実します。

方向  
77

安心して結婚し、産み育てる環境をつくる

安心

- 結婚しやすい環境づくりを推進します。
- 保育・教育を充実します。
- 認定こども園への移行を推進します。
- 子育て支援サービスを充実します。
- 親子の健康を支援します。
- 思春期の保健対策を進めます。
- 児童虐待防止策を充実します。
- ひとり親家庭を支援します。
- 障がいのある子どもがいる家庭を支援します。

## 目標指標

☆印…総合計画アンケート

指標の名称	単 位	現状値		方 向	めざそう値	
☆子育てについて地域で支えあう雰囲気があると感じる人の割合	%	34.7	H26	↗	↗	H31
出生数（H27～31平均）	人	267	H25	↗	272	H31
教育・保育施設利用定員数	人	1,450	H26	↗	1,764	H31
子育て支援センター利用者数（0～2歳児）※つどいの広場利用者含む	人/月	607	H26	→	607	H31
ファミリー・サポート・センター利用者数（小学1～6年生）	人/週	12	H26	↗	25	H31
放課後児童クラブ利用者数	人	275	H26	↗	416	H31
放課後児童クラブ数	箇所	11	H26	↗	14	H31
「はぴこ交流サロン」を通じた成婚数	組	0	H26	↗	50	H31
はじめての子育て講座の受講者数	人	41	H26	→	40	H31
一般不妊治療費の助成件数（5年間の平均）	人	54	H26	↗	60	H31
認定こども園移行数	箇所	0	H26	↗	14	

## 主な事業

- 教育・保育提供体制の確保
- 時間外保育事業（延長保育）
- 乳児家庭全戸訪問事業
- 保育所指定管理委託事業
- 結婚活動支援事業
- 子育て講座事業
- 思春期保健事業
- 一般不妊治療費助成事業
- 乳幼児等医療費助成事業
- 第3子就学前保育料無料事業
- つどいの広場事業
- 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）
- みんなで子育て応援事業
- 妊婦・乳児一般健康検査、妊婦歯科検診
- 病後児保育事業
- 休日保育事業
- 子育て支援サイト事業
- 地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）
- 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）

## 分野別計画

- 安来市子ども・子育て支援事業計画



## 安来スタイル

結婚、妊娠、出産、子育てという各段階に応じた切れ目のない支援により、安心して出産して子育てしやすい環境づくりに取り組みます。



## 第2節 学校教育の充実

### 現状と課題

子どもを取り巻く現状は、近年大きく変化し、自然体験、社会体験の不足、さらに人間関係の希薄化などがみられます。そうした中、学校教育では、学習意欲、規範意識の低下、思いやりの心の欠如、コミュニケーション力の低下、また、地域社会においては、少子化、家庭、地域の教育力の低下が課題となっております。

そこで、学力向上の推進や未来をたくましくいき拓く人づくりをするためへの、安心して快適に学習できる教育環境の整備が求められます。さらに、安来を愛し絆を大切に心豊かに生きる人づくりのためへの、心の教育、ふるさと教育及び国際感覚を養う教育の推進が求められています。

また、学校と地域が連携し、家庭や地域の教育力を学校教育に活用する体制づくり、一貫した教育を推進するための保育所、認定こども園、幼稚園、小中学校の連携体制づくり、個別に特別な支援を要する児童生徒への体制づくりなど、すべての子どもたちの学びを支える体制の充実が必要です。

今後、安来市総合教育会議の教育方針も踏まえ、様々な課題の解決を図り学校教育を推進していかなければなりません。

### 取り組みの方向と主な施策

方向3 子どもたちが主体的に学べる教育を推進し、学力向上に努める

活力

- 学力向上の推進に努めます。
- 学校図書館活用教育を推進します。(市立図書館との連携の充実)

方向16 快適な学び環境の充実を図る

快適

- 安全で快適な教育環境を整備します。
- 教育助成の充実を図ります。

方向36 ふるさと教育を推進する

らしさ

- キャリア教育を推進します。
- 環境教育を推進します。

## 方向48 学校、家庭、地域が連携し学びを支える

つながり

- 地域教育支援活動を推進します。
- 放課後児童クラブの充実を図ります。

## 方向78 安心して学校生活がおくれる環境を整える

安心

- 特別支援教育を推進します。
- 学校教育相談体制の充実を図ります。

## 方向79 豊かな心を育て、心身の健康を大切にした教育を推進する

安心

- 人権・同和教育の推進を図ります。
- いじめ未然防止を推進します。
- 給食センターの活用を通じて食育を推進します。
- 安全教育の推進を図ります。

## 目標指標

指標の名称	単 位	現状値	方 向	めざそう値
未就学児の英語に親しむ活動の実施率	%	0 H26	↗	100 H31
全国学力調査の児童質問紙の回答割合（質問：今住んでいる地域の行事に参加していますか） 小学生	%	85.1 H26	↗	90.0 H31
全国学力調査の生徒質問紙の回答割合（質問：今住んでいる地域の行事に参加していますか） 中学生	%	54.6 H26	↗	60.0 H31

## 主な事業

- 特別支援教育充実に係わる事業  
特別な支援を必要とする子どものための支援体制づくり
- 給食センター運営事業
- 学校給食配膳室整備工事
- 小中学校PC更新
- 学校施設営繕工事
- 教育支援センター（あすなろ）運営事業
- 学校図書館活性化事業

- 小中学校普通教室へのエアコンの設置
- 国際理解教育推進に係わる事業  
ネイティブな英語に触れる機会の充実～ALTの保育所、認定こども園、幼稚園、小中学校への配置拡大
- ふるさと教育推進に係わる事業（安来市ジュニアマイスタープラン）  
交流センターとの連携を図ったふるさと教育の推進

## 分野別計画

- 「健康やすぎ21」（健康増進計画・食育推進計画）
- 安来市教育大綱
- 安来市の学校教育
- 安来市子ども子育て支援事業計画



安来市給食センター“ハッピークック”



## 安来スタイル

ふるさとに誇りと愛着をもち、国際社会で活躍できる視野と地域課題に対応できるグローバルな人材を育てる環境づくりに取り組みます。

## ちよんぼし情報③

### みらいデザインコンクール

絵画 中学生部門 入賞作品

安来市みらいデザインコンクールは、第2次安来市総合計画策定事業の一環として、新しいまちづくりへの機運醸成と総合計画策定への幅広い市民の参加を目的として、市内小中学生を対象とした「絵画」と、全国から広く公募した「言の葉(ことのは)」の2つのコンクールを開催しました。

小学生部門入賞作品は67ページに掲載

### 最優秀賞

渡部尊仁さん  
(第一中1年生)



安来の神事ヤッホー

### 優秀賞

名和川侑沙さん  
(伯太中1年生)



未来の図書館

### 入選

矢田 和さん  
(第一中3年生)



みんな笑顔

### 入選

岡 尚輝さん  
(第一中2年生)



自然豊かな安来

### 入選

岩崎悠真さん  
(伯太中1年生)



こうなったらいいな



## 第3節 生涯学習の推進

### 現状と課題

市民の学習ニーズの把握に努め、各種団体、グループ等との連携を密にしながら、各世代や各分野のニーズに対応した各種講座、教室等の充実・新設等を図り、多様な学習機会の拡充・提供に努める必要があります。

また、地域づくりのための人材育成の必要性から、その拠点として「交流センター」を設置していますが、地域社会の要請による生涯学習推進体制が脆弱であることと、生涯学習社会を実現するための社会教育の概念の希薄化が課題となっています。

さらに、将来を担う子どもたちの「豊かな人間性」を育むため、学校・家庭・地域が連携をして様々な体験活動を行う機会の充実が必要です。

### 取り組みの方向と主な施策

#### 方向4 生きがいを感じる学習の場を提供する

活力

- 情報拠点としての図書館機能を充実します。
- 広瀬図書館整備を検討します。

#### 方向36 ふるさと教育を推進する

らしさ

- 地域の魅力の再認識を図ります。
- 講座や学習活動等の機会を充実します。
- 学校・家庭・地域が連携したふるさと教育を推進します。

#### 方向49 社会教育により地域人材を育成する

つながり

- 交流センター機能・体制を強化充実します。
- 学習支援者の資質向上を図ります。

## 目標指標

☆印…総合計画アンケート

指標の名称	単 位	現状値		方 向	めざそう値	
☆目的をもって学んでいるものがある人の割合	%	39.1	H26	↗	↗	H31
☆住んでいる地域の子どもはのびのびと育っていると感じている人の割合	%	62.9	H26	↗	↗	H31
「地域づくり」に関する講座開催数 交流センター各館平均	回	1	H27	↗	3	H31

## 主な事業

- ふるさと教育推進事業
- 学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業
- 地区交流センター活性化事業
- しまねの子育て協働プロジェクト事業



### 宍来スタイル

地域づくりの拠点として「交流センター」が設置されており、交流センターを中心に、社会教育による人材育成を進めます。



## 第4節 青少年の健全育成

### 現状と課題

地域ぐるみの青少年健全育成活動を推進し、子どもや保護者が安心して暮らせる地域づくりが求められています。

家庭においては、基本的な生活習慣、社会性の育成などの家庭教育の充実が求められており、学校等における薬物乱用防止に関する指導の充実をはじめ、いじめや不登校の増加などの学校教育問題とあわせて健全な青少年の育成が課題となっています。

また、インターネットや携帯電話による問題が、ますます多様化しつつあり、かつ低年齢化の傾向にあり、倫理観の育成も必要となっています。

### 取り組みの方向と主な施策

方向  
50

犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築く

つながり



- 青少年育成連絡会議を中心とした連携による青少年健全育成活動を推進します。

方向  
80

青少年の健全育成を支援する

安心



- 子ども・若者に対する相談窓口を設置します。
- 不登校、ニート、ひきこもりへの支援を行います。

### 主な事業

- 青少年健全育成事業
- “社会を明るくする運動”の推進
- 子どもの学習支援事業
- 青少年専従サポート事業



### 安心スタイル

家庭や地域、学校、関係機関が一体となって青少年の健全育成、非行防止に取り組む青少年育成連絡会議の活動を支援するとともに、地域全体で青少年をすこやかに育む意識の啓発などの環境づくりを進めます。

## ちよんぼし情報④

## みらいデザインコンクール

絵画 小学生部門 入賞作品

絵画コンクールは「将来、住み続けたいまち」がテーマで、豊かな自然・文化に目を向けたものや近未来を思い描いたものなど44点の応募がありました。入賞作品は細かいところまで一つひとつ丁寧に描かれており、郷土の資源を引き継いでいきたいという思いと、未来の安来市への期待が伝わってきます。

言の葉入賞作品は79ページに掲載

## 最優秀賞

原田陽介さん  
(十神小2年生)

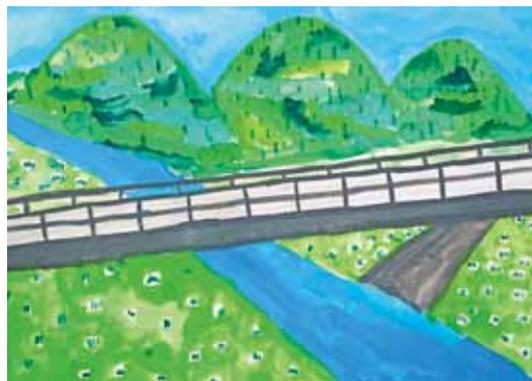
自ぜんいっぱい町

## 優秀賞

中村歩武さん  
(十神小1年生)

みんなげんきでだいすきやすぎ

## 入選

布野百華さん  
(安田小4年生)

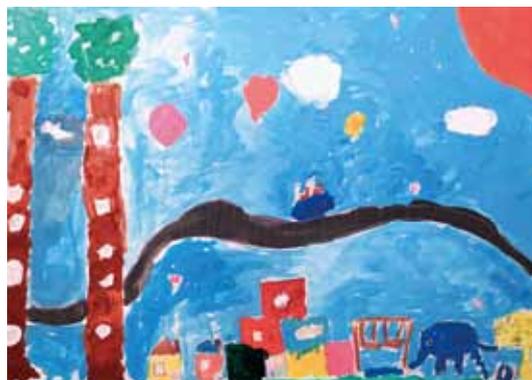
みどりがたくさんあるまち

## 入選

渡部 綾さん  
(十神小2年生)

すんでる人が元気にくらせるような町

## 入選

成相舞優さん  
(荒島小2年生)

わいわいやすぎし



## 第5節 スポーツ活動の推進

### 現状と課題

余暇時間の増大によるライフスタイルの変化及び健康づくり、体力づくりの意識が向上しています。本市では、各地域に地区体協組織及び地区健康推進会議が設立され、活動していますが、スポーツニーズの多様化への対応の遅れや体育施設の老朽化と施設整備の遅れがあり、これらへの適切な対応と、各種スポーツ、運動等の指導者の養成支援と活用が求められています。

### 取り組みの方向と主な施策

方向5 ライフステージに応じたスポーツ及び運動を推進する

活力

- 地域における小学生、中学生、高校生のスポーツ活動を推進します。
- 成人者（20代から高齢者）へのスポーツ、運動機会を提供します。
- 障がい者のスポーツ、運動参加を推進します。

方向17 安来市のスポーツ文化を支える環境を整備する

快適

- 生涯スポーツ指導者等の養成と資質向上を支援します。
- スポーツ・レクリエーション施設の整備と充実を図ります。

方向37 夢を叶え感動を与える競技スポーツを推進する

らしさ

- 競技スポーツ指導者の養成を支援します。
- 競技スポーツ団体等の活動を支援します。
- 安来市の地域特性を活かしたスポーツを推進します。

方向63 スポーツ活動による交流・連携を推進する

つながり

- 地域の団体等と連携した体力向上及び健康増進に取り組みます。
- 大規模スポーツイベント等の開催による交流を促進します。
- 地域スポーツと高校、大学、企業等との連携、協働を推進します。
- 地域スポーツとトップスポーツとの連携、協働を推進します。

## 目標指標

☆印…総合計画アンケート

指標の名称	単位	現状値		方向	めざそう値	
☆運動・スポーツを週1回以上行っている人の割合（通勤時の意識的ウォーキングも含む）	%	41.3	H26	↗	↗	H31
公共体育施設利用者数（公園体育施設・社会体育施設）	千人	206.9	H26	→	205.2	H31

## 主な事業

- 安来市体育協会補助事業
- 体育施設整備事業
- スポーツイベント開催事業
- なかうみマラソン全国大会開催事業
- スポーツ推進委員育成事業

## 分野別計画

- 安来市スポーツ推進計画



### 安来スタイル

「安来市スポーツ推進計画」に基づき、市民の皆さんが、それぞれのライフステージに応じて、スポーツ活動（する、みる、支える）への参加とスポーツに親しむことができる環境づくりを進めます。



## 第6節 文化・芸術活動の推進

### 現状と課題

本市は、中世からおよそ300年に渡り、山陰地方の拠点的作用を果たし、栄えてきておりその面影は、史跡富田城跡に見ることができます。

また、安来節・どじょうすくい、古事記上巻に記される比婆山、足立美術館等々、神話から美術、神代・古代から近代に至るまで、多種にわたり、全国レベルで語られるべき文化資源を有していますが、いまだ活用されていないものもあり、市民の活力の源として活かされていないのが現状です。

また、本市は比較的小さな人口規模の自治体でありながら、重要な文化資源が非常に多いという特性があります。今後は、行政の体制整備も含め、民間の活力を最大限に導入するなど、その調査、保存、管理、活用に関してあらゆる方法を模索・検討する必要があります。

また、過疎化、少子高齢化に伴い、地域の伝統文化、伝統芸能の継承が困難になる地域も増えつつあります。

一方で、写真や囲碁のように、若い世代の参画が増加する分野、若い世代が躍進的に活躍する分野もあり、一層の拡充が求められます。

### 取り組みの方向と主な施策

#### 方向6 文化・芸術に親しみやすい環境を整備する

活力

- 安来市総合文化祭、安来市美術展を拡充します。
- 安来市文化協会、広瀬町文化協会との連携を強化します。
- 各種文化・芸術活動を後援（主に名義後援）します。
- 安来市輩出有名近代芸術家関連施策を推進します。
- 文化・芸術活動の拠点施設として安来市総合文化ホールを整備します。

#### 方向38 文化財・伝統文化・伝統芸能の保存・継承活動や活用できる環境を整備する

らしさ

- 伝統芸能等、民俗文化の保存・継承を支援します。
- 文化財を保存及び活用します。
- 史跡富田城跡の調査・整備・活用を推進します。
- 歴史資料館を整備・拡充します。
- 古墳、歴史的建造物を保存管理します。
- 歴史、文化、芸術に親しみやすい環境を整備します。

方向  
64

たたら製鉄文化を活かした交流を拡大する

つながり

- たたら日本遺産登録、世界遺産登録に向けた取り組みを推進します。

## 目標指標

☆印…総合計画アンケート

指標の名称	単 位	現状値		方 向	めざそう値	
☆この一年の間に芸術に触れて感動した人の割合	%	48.6	H26	↗	↗	H31
和鋼博物館入場者数	千人	9.0	H26	↗	9.5	H31
歴史資料館入場者数	千人	4.2	H26	↗	4.5	H31
安来市総合文化祭出展・参加者数	人	373	H26	↗	400	H31
安来市美術展出展者数	人	67	H26	↗	80	H31

## 主な事業

- 史跡富田城跡調査・整備事業
- 蓮乗院岩松軒茶室及び古門堂修理
- 尼子一族全国集会・戦国尼子フェスティバル及び月山誘客推進、山中鹿介大河ドラマ放映実現推進事業
- 加納美術館改修事業
- 安来市総合文化ホール、施設整備、運営事業

## 分野別計画

- 史跡富田城跡整備基本計画



安来市総合文化ホール



## 安来スタイル

市民の文化・芸術活動の表現の場、多様な文化に触れることができる場、交流の場として安来市総合文化ホールを新築します。

また、日本百名城に数えられる月山富田城跡の調査・整備を進めるとともに、これを活かした誘客推進を展開します。



## 第7節 国際交流の推進

### 現状と課題

交通や情報手段の発展に伴い、世界が身近な存在となる中、自らの価値観にとらわれず、広い視野をもち、多様な文化に接し異文化への理解を深めていくことが求められています。

安来市は、平成2年に大韓民国慶尚南道密陽市との間で姉妹都市提携を結び、文化・スポーツ・行政等を通じて相互理解を深め、様々な分野での交流を進めてきました。今後も、密陽市との交流を通じて異文化相互理解を推進していくことが重要です。また、民間団体との連携により交流の機会の拡大を図ることも必要です。

本市でも、外国人の住民の増加・多国籍化の流れがあり、これに伴い多文化が共生する地域社会が身近なものとなってきています。今後は、外国人住民も地域社会の重要な一員として、安心して生活できる環境を整えていくことが求められています。交流活動を通して地域住民の国際相互理解を深め、外国人住民が自ら地域社会に参加できるように支援を進めることが必要です。

近年、国際交流は、実利の伴う経済交流、観光客の誘致、産業振興等での交流が重視される傾向にあり、今後は経済関係部署との連携により、姉妹都市も含め幅広い国々との交流を視野に戦略的な取り組みを行っていくことが必要となっています。

### 取り組みの方向と主な施策

方向7 国際理解を推進し世界に飛躍する人材を育成する

活力

- グローバル化社会に対応できる人材の育成をします。

方向18 多様な文化を尊重し豊かに暮らせる環境をつくる

快適

- 多文化共生のまちづくりを推進します。

方向65 世界の人々が集いあう環境を整える

つながり

- 地域経済の活性化につながる国際交流事業に取り組みます。

## 目標指標

指標の名称	単 位	現状値	方 向	めざそう値
青少年海外研修 海外研修	回	0 H26	↗	1 H31
青少年海外研修 海外研修参加者数	人	0 H26	↗	10 H31
青少年海外研修 国内研修 (異文化理解交流会)	回	1 H26	→	1 H31
青少年海外研修 国内研修参加者数	人	9 H26	↗	50 H31
安来市と密陽市等との相互訪問	回	4 H26	↗	5 H31

平成26年度 青少年海外研修（海外研修）は韓国旅客船セウォル号沈没の影響により中止

## 主な事業

- 国際交流事業
- 多文化共生事業
- ボランティア活動推進事業

## ちよんぼし情報⑤

## 姉妹都市

## 密陽（ミリアン）市

密陽市は韓国の南東部、慶尚南道に属する内陸都市です。人口は約10.9万人、面積は799km<sup>2</sup>あります。北の山岳地帯から南には平野が広がり、豊かな穀倉地帯を形成しています。

韓国の民謡・密陽アリアンのふるさととして有名で、韓国三大楼閣の一つ嶺南楼ヨンナムルをはじめ多くの名所・旧跡があります。特産品はえごま、青唐辛子、ナツメ、イチゴ、リンゴなどがあります。

安来市とは平成2年から国際姉妹都市となり、行政交流や民間交流を行っています。



## 安来スタイル

25年間にわたる姉妹都市交流実績を活かし、さらなる海外ネットワークの構築を模索します。